

News Release

2015 年 10 月 28 日

曙ブレーキ、10ポットブレーキキャリパーを開発

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市)は、量産高性能車向けにオポーズドタイプ^{*1}の10ポットブレーキキャリパー^{*2}を開発し、10月30日より東京ビッグサイトで開催される第44回東京モーターショー2015に当社として初めて出展します。

適応車両は大型のSUVクラスであり、高負荷のブレーキエネルギーを受けるために面積の大きなブレーキパッドが使用されることから、安定した制動を実現するために10ポットデザインとしました。この超高性能ブレーキキャリパーは、当社がさまざまなモータースポーツ活動によって培ったブレーキ技術のノウハウを結集し開発したもので、超高速、高負荷、高温制動時の高いブレーキ性能を実現するとともに、高級車向けとして重要な要素である快適性、低ノイズも併せて実現しています。他社とは差別化された競争力のある製品を開発したことで、今後、量産高性能車向けビジネスの拡大を図っていきます。

【東京モーターショー出展概要はこちら】

http://www.akebono-brake.com/static/news/2015/10/21/n20151021_01.html



10ポットブレーキキャリパー

*1:オポーズドタイプ:対向ピストンタイプ

*2:10ポットブレーキキャリパー:片側5個ずつ、計10個のピストンを持つキャリパー